

KAMAISHI SEAWAVES RUGBY FOOTBALL CLUB

シーウェイブスの魅力を再発見！ みんなで築こう ONE TEAM

釜石シーウェイブスにかかわりの深い人々のお話を聞き、魅力を再発見してもらうインタビュー企画、『SW の魅力を再発見！ みんなで築こう ONETEAM』。第3弾は、国立釜石病院の土肥先生です！ 国立釜石病院にはインターン初日、挨拶に訪問させていただいたので、今回は2回目の訪問となりました。初日訪問の際に、病院入り口や受付の脇にシーウェイブスのロゴの入った旗が飾られているのを目にし、熱くシーウェイブスを応援して下さっていることは知っていたのですが、実際に土肥院長とお会いし、院長のシーウェイブス愛をひしひしと強く感じる事ができました。お忙しい中、2時間もシーウェイブス愛を語ってくださり、院長の素敵なお人柄も知ることができました。

“大きな愛と多方面からのサポートでチームを支える最大のサポーター”

Profile



国立釜石病院 院長
土肥 守

医学博士・脳神経外科専門医
岩手医科大学医学部脳神経外科客員教授
釜石医師会理事・釜石 SWRFC 理事
釜石応援団副団長・イルミネーションクラブ会長

・シーウェイブスを好きになったきっかけ

現在は熱狂的なシーウェイブスファンの土肥先生ですが、元々大の松井秀喜ファンだったそうです。シーウェイブス熱に火がついたのは、2002年の開幕戦で三菱重工と試合を観戦中、釜石シーウェイブスが逆転勝ちし、サポーターの大人達が抱き合って喜んでいるのを見たことがきっかけだったそうです。こんなに近くに、こんなに大人が熱中し、熱くなれるものがあるのであれば応援したい。そう感じたそうです。院長先生としてたくさんの患者さんを担当しており、忙しい日々を送られている土肥先生ですが、非日常的な時間をくれるシーウェイブスという存在が、仕事に活気をもたらしてくれる。シーウェイブスがあるから仕事が頑張れる。と生き生きとした表情でシーウェイブスについてお話ししてくださいました。

・シーウェイブスの魅力

シーウェイブスの試合はいつも最後までハラハラドキドキする！だからこそサポーターとして最後まで気を抜かず、全勢力を尽くして応援し続けている！と力強くサポーターとしての熱意を語ってくれました。そして土肥先生は、試合観戦での選手の応援はもちろん、医療面でも選手のサポートを手厚く行っているそうです。先生はラグビー応援を始めた当初、試合後半に激しく体力を消耗してしまう選手を見て、科学的アプローチによってサポートできないかと考えたそう。選手達が試合で力を発揮できるよう、体力回復に効果的な飲み物の提供や食事改善などの栄養学講座などを行っているそうです。病院の院長先生だからこそできる、医療面での強力なサポート方法を聞き、驚きました。選手の体調不良の治療や医療的サポートも行っており、英語が堪能な先生は外国人選手やご家族へのサポートも行っています。自分が治療した選手が試合で活躍している姿を見るのが、楽しみであり喜びであるとお話しされていました。サポーターとして、医療者として、あらゆる角度からチームに携わっている先生だからこそ、チームへの思いや熱は人一倍強いのだと実感しました。

・サポーターとしてのルーティーン

インタビューの中で何よりも驚いたのは、先生のシーウェイブスに対するエネルギーの強さです。院長先生として多くの患者さんを持っており、日々大変忙しい生活をされているのにもかかわらず、東京から福岡など全国各地で行われる試合には、シーウェイブスのユニフォームやグッズを持ってスタジアムまで赴くそう。そしてさらに驚いたのは、遠いところまで試合の為に応援に行くことに加え、2時間前にスタジアムに入り、大漁旗の設置や、サポーターの皆さんに応援歌カードの配布、そしてサポーターの団結力を高める時間を設けるなど、試合に向けての応援準備を行っているそうです。

・土肥院長の人柄が支える素敵なサポーターのチームワーク

私達インターン生は今回、シーウェイブスの新たな魅力を発掘しようという目的で国立釜石病院を訪れ、土肥院長のお話から、シーウェイブスが持つ魅力、地域の人々との繋がりを感じることができました。そして、チームを支える土肥院長のお人柄に魅了され、シーウェイブスを強く愛し、サポーターを統括する姿勢に感銘を受けました。東京など県外のスタジアムでの試合では、「昔釜石に住んでいたことがある」など、縁のあるサポーターの方々もたくさんいます。土肥院長は初対面のサポーターであってもワンチームとして温かく向かい入れ、応援の仕方などのレクチャーをしてくれるそうです。インタビューで病院を訪れた際にも、釜石に来たばかりの私達のことを快く向かい入れてくださいました。また、試合中は野次や罵倒など選手の気持ちがマイナスになるような発言は決してせず、最後の1秒まで希望を持って応援し続けることが大切であるとお話しされていました。選手のこと、チームのことを一番に考え、献身的に応援し続けている、これほど素敵なサポーターがいる。これこそが釜石シーウェイブスの魅力の一つであると強く感じました。

シーウェイブスインターン生 山田茜